

令和8年度当初予算案のポイント

健康福祉部

1 基本方針

長野県総合5か年計画「しあわせ信州創造プラン3.0」や、「信州保健医療総合計画」、「長野県高齢者プラン」、「長野県障がい者プラン」等の各種計画を着実に推進するため、「少子化と人口減少の急速な進行」、「社会に存在する様々な格差」、「デジタル化の急速な進展への対応」といった課題に対して、健康・医療・福祉施策を一体的に取り組みます。

また、「適切な医療・介護提供体制の整備と人材確保」など、4つの項目に重点的に取り組みます。

重点1 適切な医療・介護提供体制の整備と人材確保

重点2 社会全体での健康づくり・疾病対策の推進

重点3 県民生活の安全・安心の確保

重点4 誰もが自分らしく活躍できる環境の整備

2 主要事項（※事業名の後の(数字)は、主要事業一覧の事業番号と一致します）

【持続可能で安定した暮らしを守る】

令和8年度当初予算案
(令和7年度当初予算額)

－ 信州ACEプロジェクトと疾病予防の推進 －

重点2

○信州ACE（エース）プロジェクト推進事業（1）

県民の健康課題を「見える化」し、市町村・保険者等が行う保健事業や企業の健康づくりの取組を支援するとともに、県民の生活習慣の改善に向け、運動（A）、健診（C）、食（E）に係る情報発信・環境整備を実施

3283万2千円

(2410万9千円)

－ 医療・介護提供体制の充実 －

重点1

○福祉医療費給付事業（4）

乳幼児等、障がい者、ひとり親家庭等の経済的負担を軽減し、福祉の向上を図るため、市町村が行う医療費助成事業を支援

56億7954万2千円

(56億4227万7千円)

○地域医療介護総合確保事業（5）

地域医療構想・高齢者プランを推進するため、地域医療介護総合確保基金を活用し、医療・介護サービス提供体制を確保・充実

51億3977万5千円

(47億5270万5千円)

○救命救急医療対策事業（6）

患者の状態に応じた適切な救急医療の提供や、災害時においても必要な医療を確保できるよう、体制を整備

14億43万9千円

(11億4876万4千円)

○循環器病対策推進事業（10）

病期に応じた循環器病対策を推進するため、医療関係者の地域連携や多職種連携を図るとともに、県民に向けた予防や治療に係る普及啓発活動を実施

814万8千円

(995万1千円)

○精神医療対策事業（11）

精神障がいのある方が地域で安心して自分らしい暮らしができるよう、適切な医療・相談支援を受けられる体制の整備や医療費軽減措置等の支援を実施

33 億 8111 万 6 千円
(31 億 2110 万 4 千円)

－ 地域包括ケア体制の確立 －

重点 2

○地域包括ケア体制推進事業（15）

高齢者が住み慣れた自宅や地域で安心して暮らし続けられる「地域包括ケア体制」を推進

3727 万 2 千円
(4421 万円)

－ 医療・福祉人材の確保 －

重点 1

○医師確保対策事業（17）

医師の不足や地域・診療科偏在を解消するため、即戦力医師の確保や働き方改革の推進など、医師の確保・養成・定着に向けた取組を実施

11 億 1618 万 6 千円
(8 億 3883 万 9 千円)

○看護職員確保対策事業（18）

誰もが安心して適切な医療・介護サービスを受けられるようにするため、看護職員の新規養成、資質向上・離職防止、再就業促進に向けた取組を実施

8 億 3020 万 3 千円
(8 億 6974 万 1 千円)

○福祉・介護人材確保対策事業（19）

介護分野の人材不足の解消を図るため、新卒者・求職者をはじめとする多様な人材の入職の促進、福祉・介護人材の資質の向上及び定着支援・離職防止に向けた取組を実施

3 億 5232 万 7 千円
(3 億 2100 万 4 千円)

○薬剤師確保対策事業（20）

薬剤師の不足や地域・業態偏在を解消するため、未就業の薬剤師の復職支援や奨学金返還補助など、薬剤師の確保に向けた取組を実施

1170 万 3 千円
(843 万 2 千円)

－ 自殺対策の推進 －

重点 3

○自殺対策推進事業（21）

誰も自殺に追い込まれることのない信州を実現するため、市町村、関係機関、民間団体等と連携し、自殺対策を推進

6473 万 8 千円
(5716 万円)

○子ども等自殺対策強化事業（22）

子どもの自殺ゼロを目指し、子どもの自殺対策の取組を強化するほか、目に見えない自殺リスクを持つ子どもの早期発見に向けた取組を実施

2661 万 4 千円
(3051 万 3 千円)

－ 食品・医薬品等の安全対策の推進 －

重点 3

○食品衛生監視指導事業（23）

飲食に起因する危害の発生を未然に防ぎ、県内で製造・加工される食品の安全性をより高め、県民の食生活を更に向上させるため、食品関係施設への監視指導やHACCPに沿った衛生管理に関する助言等を実施

2179 万 3 千円
(2151 万 7 千円)

○医薬品等監視指導事業（24）

医薬品等の品質、有効性及び安全性を確保するため、製造販売業者・製造業者・販売業者への監視指導を実施するとともに、薬局・病院・診療所における医薬品等の適正な取扱いを促進

2713 万 2 千円
(1848 万 2 千円)

○旅館業無許可営業者情報収集等事業（25）

宿泊施設の衛生環境を確保するとともに、令和 8 年度の宿泊税導入にあたり税負担の公平性を確保するため、旅館業の無許可営業者に関する情報を収集し、指導を実施

505 万 4 千円
(325 万 7 千円)

【快適でゆとりのある社会生活を創造する】

－ 文化芸術の力の様々な領域への拡大 －

重点 4

○障がい者芸術文化活動普及支援事業（26）

長野県障がい者芸術文化活動支援センター（愛称：ザワメキサポートセンター）において、障がい者が芸術文化活動に参加する環境を整備

1450 万円
(1500 万円)

【誰にでも居場所と出番がある社会をつくる】

－ 妊娠・出産の安心向上 －

重点 4

○母子保健等推進事業（27）

妊娠から子育て期にわたる切れ目のない支援体制を推進するため、市町村母子保健サービスを支援するとともに、不妊・不育症に関する相談や検査・治療費用の一部を助成

2 億 5514 万 4 千円
(2 億 4078 万 2 千円)

○小児・周産期医療体制整備事業（28）

安心・安全な出産・子育てができるよう、小児の夜間の急病等に対応する体制を含め、小児・周産期医療提供体制を整備

3 億 6010 万 9 千円
(3 億 4063 万 5 千円)

－ 困難を抱える子ども・若者や家庭の支援 －

重点 4

○困難を抱える子どもへの動物介在活動による支援事業（29）

不登校など困難を抱える子どもの共感力や自己有用感を育み、安全・安心な居場所を提供するため、動物とのふれあいや世話体験等を実施

1364 万 9 千円
(1430 万 7 千円)

－ 障がい者共生社会の実現 －

重点 4

○障がい者共生社会づくり体制整備事業（30）

障がいを理由とする差別の解消や障がい者の権利擁護等を推進し、障がいの有無にかかわらず誰もが自ら選んだ地域で安心して暮らすことのできる社会の実現に向けた体制を整備

628 万 5 千円
(658 万 7 千円)

○人口減少下における農福連携促進事業（32）

農業分野の人手不足の緩和や障がい者の働く場を拡大するため、障がい者の農業分野での就労を促進

5226 万 6 千円
(3276 万 8 千円)

○障害福祉分野における生産性向上推進総合事業(33)

障害福祉サービスの人材の確保・定着を図るため、業務効率化や負担軽減につながるワンストップ型の支援を実施するとともに、介護テクノロジーの導入経費の支援により、生産性向上に資する事業を一体的に実施

1809 万 6 千円
(2970 万 7 千円)

－ 生活困窮者等の援護を要する人々の支援 －

重点 4

○信州パーソナル・サポート事業 (34)

生活に困窮している方の自立を促進するため、一人ひとりの状況に合わせた包括的支援を推進

2 億 6931 万 9 千円
(2 億 3169 万 3 千円)

－ シニア世代の社会参加の促進 －

重点 4

○人生 100 年時代シニア活躍推進事業 (35)

人生 100 年時代の到来を見据え、長野県長寿社会開発センターによる生きがいづくりの機会の創出や、シニア活動推進コーディネーターによるシニアが地域で活躍できる仕組みづくりを支援

1 億 3361 万 9 千円
(1 億 2747 万 2 千円)

3 社会保障に係る必要経費の確保

後期高齢者医療費や介護給付費など、生活の基盤を支える社会保障に係る必要経費を確保します。

[主な社会保障関係経費（関連事業含む）]

事業名	内 容	令和 8 年度当初予算案 (令和 7 年度当初予算額)
福祉医療費給付事業	市町村が行う乳幼児、障がい者等の医療費自己負担分の給付に要する費用に対する補助等（県 1/2、市町村 1/2）	56 億 7954 万 2 千円 (56 億 4227 万 7 千円)
国民健康保険運営 安定化等事業	国民健康保険の安定的な財政運営のための負担金等 (保険基盤安定負担金、国民健康保険特別会計繰出金)	160 億 4634 万 1 千円 (163 億 6326 万 3 千円)
後期高齢者医療支援 事業	後期高齢者医療広域連合の医療給付費に対する定率負担（1/12）、低所得者等の保険料軽減措置に要する費用の一部負担等	334 億 5358 万 7 千円 (325 億 1725 万 3 千円)
地域支援事業交付金	市町村が行う介護予防・日常生活支援総合事業等に対する定率負担 (国 1/4、県 1/8、市町村 1/8、保険料 1/2 等)	18 億 1254 万 8 千円 (17 億 9933 万 4 千円)
介護給付費負担金	市町村の介護給付費等に対する定率負担 (居宅サービス 12.5%、施設サービス 17.5%)	294 億 68 万円 (293 億 4246 万 8 千円)
障害者自立支援給付 費等事業	市町村の障害者自立支援給付費に対する定率負担等 (国 1/2、県 1/4、市町村 1/4)	160 億 8150 万 8 千円 (152 億 7680 万円)
生活保護費	生活保護世帯に対する生活扶助等（国 3/4、県 1/4）、 生活保護法第 73 条県費負担金	23 億 4176 万 2 千円 (23 億 4425 万 4 千円)
合 計		1048 億 1596 万 8 千円 (1032 億 8564 万 9 千円)